



ROTARY  
BRINGS  
HOPE

ロータリーは  
希望を  
もたらす



会長 山口篤之助 幹事 松田士郎 クラブ奉仕 市川輝雄 職業奉仕 庄司嘉雄 社会奉仕 布施隆夫 国際奉仕 中江 亮 青少年奉仕 塚原初男

出席報告：会員77名 出席51名 出席率80.95% 前回出席率82.54% 修正出席54名 確定出席率85.71%

国際青少年交換委員会

台中港区扶輪社児童生徒絵画交換賞状伝達式

佐々木 喆 彦 君

昨年度高橋先生の御尽力で鶴岡市内の中学校・小学校・幼稚園の皆さんから、台中港区へ送る絵を集めて、向うで展示をして戴いた訳であります。それに台中港区の方から鄭重な賞状と記念品が返ってきております。これを今日、御招きしてお渡ししたいと言う事で、ビジターとしておいで戴きましたので、順不同ですが御紹介を申し上げます。



朝陽第六小学校	渡辺 祚 先生
みどり幼稚園	池田 知子 先生
大宝寺幼稚園	大滝 真理 先生
鶴岡幼稚園	沢田 光枝 先生
マリア幼稚園	岡村 進 先生
いなば幼稚園	麻生 妙子 先生
和光幼稚園	佐々木 典子 先生
鶴岡第3中学校	佐藤 恒雄 先生
張 広重君代理	張 紹淵 先生



(日本語訳)

賞 状

あなたは当クラブと日本の鶴岡ロータリークラブ及び静岡日本平ロータリークラブの企画した中日両国青少年書道及び絵画の聯合展示会に出品され審査の結果優秀でありました。

依ってここに賞状を差し上げて激励致します。

1986年5月10日

国際ロータリー第345地区

台中港区ロータリークラブ

会長 黄 財 彦

## 御礼の言葉

マリア幼稚園 岡村 進 先生



年の功で私から代表しまして御礼申し上げたいと思います。

ほんとうに今日栄ある例会の席上で、子ども達がまいてはほとんど1人ずつ表彰を受ければこの上ない事だとは思いますが、

私達代表でこうして戴きました事は、心から感謝申し上げます。

子ども達がやった事が皆様の会の一助になる事と思っております、今後共何かにつけて色々御世話になる事と思ひ、宜しく御願ひ申し上げます。

有難う御座居ました。

## 会長報告

山口篤之助 君

三原山の噴火により避難されました大島の島民の方々に心からお見舞申し上げます。

1. 去る18日(火)第3回クラブ協議会を、22名のご出席をいただき行いました。協議事項を申し上げます。

① 会員増強について斎藤庄治委員長より発言をお願いしました。近日中に第1回委員会を開く予定。増強の為にいろんな名簿から検討してありますが、現下の経済事情で増強も厳しい様ですが、目標80名以上に向けて頑張っていきたい。又、会員皆様からのご推薦を願いたい。又、新穂さんよりはテリトリーにあまりこだわらないで、市内以外、羽黒、櫛引、藤島方面よりの推薦も考えてみたらと発言ありました。

② ポリオプラスキャンペーンについて佐藤忠世界社会奉仕委員長より発言をお願いし、ロータリー財団と協力して行く、会員1名当り2万円を、4年間で1年5千円の寄附という事で方法を色々話し合い協議しましたが、理事会に図っ

て決定することになりました。

③ I・A・C会員増強は、学校側に極力会員増強をお願いする。

R・A・Cは忠鉢委員長より、山大学生を集め入会を奨めてる段階で、出来るだけ早く結成したい。又、R.Cの会員の方々からも今1度認識していただき、社員を推薦していただきたい。

④ 例会の出席率が最近低下してますので、何とか90%台になる様メークアップをお願いしたい。

2. 今月初旬より宮原病院へ入院されてました板垣俊治さんへ昨日松田幹事とお見舞いに行き参りました。10日程前より食事も摂る様になり、冗談も出る程まで元気になられ、一日も早く退院出来る様養生に勉めておられる様でした。

3. 本日は例会後半に年次総会に切換え致します。

## 親睦活動委員会

藤川 享 凰 君

来月16日、今年のクリスマス家族会でございます。12月2日第1例会の時に御案内を差し上げる予定ですが、どうぞご夫妻揃って御参加出来るように、今からスケジュールを開けておいて戴きたいと思ひます。

12月16日 午後6時・第1イン点鐘

## スマイル

佐々木喆彦君 今回の伝達式は前任者の高橋先生が御尽力戴いたお陰でございます。その御尽力に感謝して。

富田 孝一君 交通公社発行YES月刊誌に「一人旅」特集に藤川さんと一緒に載ったので。台中港区の件で15名位集っておりますが、盛会に行ないたいと思ひますので宜しく願ひします。

新穂光一郎君 ガバナー月信11頁、アメリカ派遣受け入れ学生についてのご案内を

高橋良士君 親睦委員長から紹介戴いたので。昨年国際奉仕委員長として台中港区合同図画書道展、大変成功裡に終り有難う御座居ました。感謝申し上げます。

上野三郎君 先日ある会合で乾杯の音頭をとらせられて帰って来たら、飯野準治さんよりマイクにのって声が大変美しいと誉められ大変嬉しかった事と、羽前絹練の社長を辞して会長に就任したので。

碓氷節雄君 先週月火水木と行なわれたワープロ講習会、皆様に参加していただき、大変喜んでいただいたと思っております。

平出統一君 上記のワープロ講習会へ社員2人参加させていただいて。

松田士郎君 ワープロ講習会期間中、クラブ協議会を忘れ幹事としての不手際をお詫び申し上げます。また、台中港区の表彰状捜しに多少もたました。

藤川享胤君 富田さんから御紹介の件と、先週金曜日仙台で前会員佐藤英明さんと佐藤元信さんと3人、久しぶりに飲んでまいりました。大変元気で前より太っていました。一月の後半の鰯汁会には休暇をとって参加したいと言うメッセージがありましたので。

村中文章君 会報第1382号の写真を入れ違えて掲載した事をお詫びして。

中沢進君 会報第1383号のゲストスピーカーのお名前を間違えて掲載した事をお詫びして。

選考委員指命→会長一任

選考委員 吉野 勲 君  
佐藤 順 治 君  
内山 喜一 君  
中江 亮 君  
山口篤之助 君

### 次年度幹事決定報告

市川輝雄君

私、1988年～1989年ロータリー年度の会長に指命されております。この度私の女房役となります幹事が決定しましたので発表させていただきます。若生恒吉君であります。皆さん御存知の通り非常に責任感旺盛であり、又、バイタリティーに富んでいらっしゃいます。必ず皆様の御期待に添うかと存じます。若生君には心良く幹事役を引受けて戴きまして私も一安心です。スマイルさせて戴きます。

若生恒吉君

只今市川さんから御指命がございまして、一緒に輝かしい30周年の年ではありますが、大変私には荷が重い訳ですが、これも市川さんからの御指命でありますので、心良く務める予定でありますので宜しくお願い申し上げます。

一言お願い申し上げます。御挨拶と致します。

### お詫びと訂正

村中文章君 会報第1382号写真うつりが悪く、且つ台中港区扶輪社社長鮑國器氏の写真と台中港区分区代理呉金生氏の写真を入れ違い掲載した事に付き深くお詫び申し上げ訂正申し上げます。

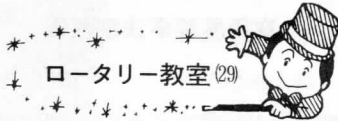
中沢進君 会報第1383号ゲストスピーカーのお名前を杉沢保吉氏を相沢保吉氏と間違え大変申し訳なく、お詫びして訂正申し上げます。

## 年次総会

次年度役員選考について

## ビ ジ タ ー

鶴岡西R.C 菅原年雄君・児玉光弥君  
阿部光雄君・桜井晋君  
立川R.C 滝 禅源君



(1381回例会会報より続く)

### ロータリー小史 8

しかし、その種子が実際にまかれたのは、それをさかのぼる10年前のことです。当時のロータリークラブ国際連合会の会長(1916~17年度)で、ロータリー財団の父といわれるアーチ・クランプは、米国ジョージア州アトランタで開催された1917年国際大会で、ロータリーは、慈善、教育などの奉仕事業を世界的におこなう目的の基金を設定すべきであると発言しました。ロータリー財団が今日あるのは、このアーチ・クランプの意見によるところが大きいのです。

1947年、創始者ポール・ハリス逝去の直後、ロータリー財団の第1回奨学金計画がまとめられ、ロータリーの創始者を記念する事業として発表されました。これによって、7カ国の学生18人に、1947~48年度奨学金がおくられ、財団の奨学金事業は幸先よいスタートを切りました。この事業がはじまって以来、ロータリー財団はその資金源を、全世界のロータリアンや一般の人々の任意の自発的寄付金に、全面的に依存し、そして、その寄付金の主要部分をポール・ハリス・フェロー(1957年に財団管理委員会認可)にたよっています。ポール・ハリス・フェローとは、ロータリー財団に1,000ドルもしくはそれ以上を寄付した個人におくられる称号です。なお特定の個人(ロータリアンでなくてもよい)に敬意を表して、第三者がその特定の人の名義で1,000ドル

もしくはそれ以上をロータリー財団に寄付した場合、その名義人にも、この称号がおくられることになっています。

1980年代の初期には、財団への年間寄付金の総額は1,600万米ドルをこえる年度がつづきました。財団の教育補助金制度がはじまって以来、今日にいたるまでに支給された教育補助金の合計は、1億ドルをこえるにいたっています。そして“親善の使節”にふさわしい2万人以上の青年男女が、ロータリー財団奨学生あるいは研究グループ交換チーム・メンバーとして、130カ国以上の国々に派遣されたのです。また、この間にポール・ハリス・フェローの称号をおくられた人々の数は7万人以上におよんでいます。

現在、ロータリー財団では大学院課程奨学金、大学課程奨学金、職業研修奨学金、ジャーナリズム奨学金、障害者教師奨学金の5つの奨学金を授与しています。このほか財団は、下記の諸事業を実施しています。すなわち、研究グループ交換プログラム

(少壮の実業人、専門職業人の海外交換訪問助成)、特別補助金(ロータリークラブまたは地区による有意義な事業育成)、および3-Hプログラムとよばれる保健、飢餓追放、人間性尊重のための事業(1979年ロータリー創始75周年記念事業として国際理解、友好と平和増進のため、全世界の人々の保健事情の向上、飢餓追放、さらに、人道的、社会的な条件の向上のためにおこなう)です。

第二次世界大戦中、多くの国々のロータリークラブが解散させられました。しかし戦後になって国際ロータリーへの復帰がみとめられました。国際的なロータリー家族にふたたび迎えられた国は、イタリア(1946年復帰)、西独と日本(1949年)、そしてスペイン(1977年)などです。しかし、共産主義の影響下に入った国のクラブはいまだに解散したままになっています。

(次回に続く)